

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	→

(注) 令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、ドラッグストア販売やホームセンター販売が好調であるなど、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、輸送機械や鉄鋼が増加しているなど、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる	→
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	→
設備投資	2年度は前年度を上回る見込み	2年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
企業の景況感	「下降」超幅は縮小	「上昇」超に転じる	↗
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	→
輸出	前年を下回る	前年を下回る	→

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している」

百貨店販売は衣料品などが低調であり、前年を下回っているなか、足下では来店客数が減少している。家電販売は空気清浄機などが好調であるものの、暖房器具などが低調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は衛生用品や食料品などが、ホームセンター販売は園芸・エクステリアなどが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、全体では、緩やかに持ち直している。

（主なヒアリング結果）

- 海外ブランド製品が堅調であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、衣料品などが外出を控える動きに伴い低調となった。足下では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、来店客数が減少している。（百貨店）
- 新型コロナウイルス感染症に対する感染予防のため、空気清浄機や加湿器が好調に推移しているが、気温の高い時期が長引いたことから、暖房器具などが低調となった。（家電量販店）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として衛生用品を求めて来店する客が多いほか、生鮮食品などが好調に推移している。（ドラッグストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛に伴う巣ごもり需要が増加したことなどから、園芸用品などが引き続き好調に推移している。（ホームセンター）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、オフィス街や観光地などで来店客数が減少し、揚げ物やおにぎりなどが低調となった。G・O・T・Oトラベル事業の効果により来店客数が戻りつつあったが、足下では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、観光地周辺の店舗を中心に来店客数が再び減少に転じている。（コンビニエンスストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、肉食需要の増加が続いており、食料品は全般的に好調に推移している。（スーパー）
- G・O・T・Oトラベル事業の効果により宿泊需要は回復傾向にあったものの、同事業の一時停止により、足下では、既存の予約の多くがキャンセルされるとともに、新規予約も獲得できていない。また、営業時間の短縮要請もあって、売上は大幅に減少している。（宿泊）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる」

輸送機械は、自動車海外向けで需要が堅調であることなどから、増加している。鉄鋼、電気機械、化学は、自動車向けで需要が持ち直していることなどから、増加している。汎用・生産用・業務用機械は、企業の設備投資に慎重な姿勢がみられることなどから、弱めの動きとなっている。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。

- 海外向けで、SUVの需要が堅調に推移している。生産水準も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に、おおむね戻ってきている。足下では、新旧モデルの切り替えなどの影響により、生産台数が減少している。（自動車）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、需要が回復していない製品はあるものの、自動車向けについては、自動車メーカーの生産回復に伴い、国内外で需要が回復しており、生産量が増加している。（鉄鋼）
- 自動車メーカーの生産が急速に回復したことなどから、国内外で車載向け電子部品の需要が回復しており、生産量が増加している。（電気機械）
- 自動車部品向けの製品だけでなく、汎用品を含めて全体的に需要が回復してきている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準には戻っていないものの、足下の稼働率が高まっている。（化学）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業が設備投資に慎重になっており、需要が減少していることなどから、生産水準を引き下げている。（生産用機械）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しているものの、新規求人数は前年を下回っているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

- 生産量の減少により人員が過剰気味となっているため、契約社員の採用を当面は控えるなど、人員の調整を図っている。（生産用機械）
- 求職者の求職活動は長期化の傾向にあり、就職に結びついていないため、有効求職者が増加し、さらに有効求人倍率が下がる可能性もあることから、下げ止まったとは言えない状況。（公的機関）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、生産量が低下していることから、雇用調整助成金を活用しながら週1日の休業を継続している。（非鉄金属）

■ 設備投資 「2年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、「石油・石炭」、「生産用機械」などで増加するものの、「情報通信機械」、「業務用機械」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」、「リース」などで減少するものの、「金融・保険」、「情報通信」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

➢ 前年度の大型投資の反動減。(情報通信機械、業務用機械)

➢ 営業店の建替えを行う。(金融・保険)

■ 企業収益 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 製造業では、「その他製造」、「電気機械」で増益となるものの、「化学」、「生産用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「運輸・郵便」、「建設」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、給与住宅が増加しているものの、持家、貸家が減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、自動車、一般機械などが増加しているものの、鉄鋼、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米などで増加しているものの、中南米、アジアなどで減少している。

なお、輸入は、原油及び粗油、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、アジアなどで減少している。

3. 各県の総括判断

	前回(2年10月判断)	今回(3年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
島根県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、明るい兆しがみられる	復調の動きが続いているが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、一部に陰りがみられる	➡	生産活動は感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。一方、個人消費は復調の動きが続いているが、感染症の拡大に伴い一部に陰りがみられ、雇用情勢は感染症の影響により弱含んでいる。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きが続いている	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足下では一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	➡	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。